

エフコープ奨学生応援センター通信



奨学生制度へのご支援ありがとうございます。

日頃よりエフコープ奨学生制度へのご理解と「奨学生応援センター」へのご登録ありがとうございます。

エフコープでは、2024年度より高校生を対象とした「返済不要の給付型奨学生制度」を開始し、2024年度は10名の奨学生を対象として、奨学生給付を行っています。

奨学生給付を支えていただいている「奨学生応援センター」への登録は、募集を開始して約1年を経過し、3,500名を超えることができ、支援の輪が大きく広がってきています。

「奨学生応援センター」のみなさまの温かいお気持ち、心から感謝申し上げます。奨学生給付を受けている、奨学生からも感謝の声が届いています。

奨学生の声

◆一日一日を大切に

勉強の毎日です。3年後の自分を想像しながら、勉強、友人作り、お弁当作りも挑戦したいです！ あっという間に過ぎる3年間だと思うので、1日1日を大切に、心も体も、頭もレベルアップできる高校生活を送りたいです。

◆当たり前の事に感謝

朝登校して勉強してご飯食べて、なにげない一日を毎回まんきつしながら当たり前の事ができる環境に感謝していきたいです。

◆3万円

給付されたお金を見たとき何とも言えない感謝の気持ちでいっぱいになりました。今まで苦しんできた分3万円という額は身にあまるくらい大きくありがたい存在と身に染みてわかっているから本当に感謝しきれないです。

(月額1万円の奨学生金を3か月ごとに奨学生本人の口座に振込みしています)

◆私も誰かのために

多くのサポーターの人たちが私の今や未来をよく考えててくれていて、そして行動していただいて本当にありがとうございます！ 私も働いて誰かを少しでも支えていきたいです!!

奨学生へのご支援ありがとうございます

奨学生のご家族の声

娘は日頃から私を支えてくれ、家事にも積極的に取り組んでくれます。そうした環境の中でも、努力を怠ることなく中学校生活は文武両道に励んでいました。

娘は将来の目標を明確に持っております。大学への進学も希望しています。高校では将来の目標に向け、語学研修など新たなことにも挑戦したいという娘の希望を後押ししたいと思い、奨学生を申請させていただきました。

この奨学生を受けることで家計の不安を抱える事なく勉学に励める環境を作つてあげたいと考えましたので、今回この奨学生の申請をさせていただきました。

何とか親子3人で暮らしてきました。真面目な娘には希望する教育ができるだけ受けさせてあげたいという思いがいつもあり、貴社の奨学生を申請させていただきました。

サポーターのみなさんの声

みんなの手で支え続ける

少額ですがサポーターになりたいと思います。今、子どもたちの貧困が深刻だそうです。サポーターが増えて、給付額も少しでも上がればと思います。

地区担当と組合員さんとの会話

奨学生応援サポーターの募集の取り組みを進める中で、組合員さんからは募金だけでなく奨学生を想う温かい言葉も多くもらいました。

ぜひ、そういう想いがあることを忘れずに、皆さんの将来のために役立ててもらえればなと思います。

学びたい気持ちを応援

奨学生があればお金で進学先を選定せず、本当に自分の学びたい事が学べると思います。応援します！

【お知らせ】

★次回の奨学生応援サポーター通信の発行は7月頃を予定しています。2024年度のまとめと2025年度の奨学生採用結果についてご報告します。

★奨学生制度についての情報は、エフコープの広報媒体や、財団のホームページなどでもお知らせしています。

